

目 次

| | |
|-------------------------------|----|
| NPO の事業 | 2 |
| 第 1 章 平成 24 年度の事業報告（概要） | 3 |
| 第 2 章 臨床研修評価事業の実績報告 | 5 |
| 1) 評価の手順 | |
| 2) 受審病院の概要 | |
| 3) 評価結果の分析 | |
| 第 3 章 人材育成事業の実績報告 | 13 |
| 1) サーベイヤー養成事業 | |
| (1) サーベイヤー講習会 | |
| (2) サーベイヤーの業務 | |
| (3) 訪問調査の担当状況 | |
| (4) サーベイヤーの職務と心得に関する検討と対応 | |
| (5) サーベイヤーの確保に関する今後の課題 | |
| 2) 臨床研修病院事務担当者講習会 | |
| 第 4 章 質の評価に関する研究開発事業の実績報告 | 19 |
| 1) 評価体型・評価項目に関する検討 | |
| 2) サーベイヤーによる評価項目等の研究会 | |
| (A) 組織図、各種委員会について | |
| (B) 要検討、要改善事例について | |
| (C) 研修医の態度評価について | |
| 3) QI の検討 | |
| 第 5 章 今後の課題 | 31 |
| 1) 受審病院の確保と継続的支援体制の確立 | |
| 2) 評価体系の改定と新たな評価方法の検討 | |
| 3) 評価結果の活用と情報の提供 | |
| 4) 事業の実施体制の強化 | |
| 【資料】 | |
| 資料 1 臨床研修評価 実施要領 | 32 |
| 資料 2 書面調査結果（臨床研修調査票） | 36 |
| 資料 3 研修医満足度アンケート 結果 | 64 |
| 資料 4 評価結果の分布 一覧（N=138 認定病院） | 65 |
| 資料 5 NPO 法人卒語臨床研修評価機構 5 周年記念会 | 67 |
| 資料 6 会員 | 68 |
| 資料 7 役員 | 72 |
| 資料 8 評価委員会・ワーキング | 73 |

NPO の事業

本評価機構は国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成を行い、公益の増進に寄与することを目的としている。

事業は大きく、1) 臨床研修病院の研修プログラムに関する基準の策定・公表及び評価事業（評価事業）、2) 臨床研修病院の研修プログラムに関する人材育成事業（サーベイヤー養成）、3) 臨床研修病院の研修プログラムに関する研究開発事業、4) 卒後臨床研修に関する情報収集及び情報提供事業、5) その他目的を達成するために必要な事業、に分けられる。

特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 内容 | 実施日時 |
|--------------------------|---|--------------------------|
| 臨床研修病院の研修プログラムに関する評価事業 | 臨床研修病院において社会の要請に応える適切な研修プログラムが作成され、プログラムとおりに研修が実施されているかを評価し、認定を行う | 通年 |
| 臨床研修病院の研修プログラムに関する人材育成事業 | 臨床研修評価に必要な評価者(サーベイヤー)を養成する | 講習会 年1回 実地研修 通年 |
| 臨床研修病院の研修プログラムに関する研究開発事業 | 臨床研修病院において必要とされるものは何か、臨床研修病院のあり方について研究開発し質の高い臨床研修の実現を支援する | 通年 |
| 卒後臨床研修に関する情報収集及び情報提供事業 | 卒後臨床研修に関する情報の収集や評価に関する研究結果の公開などをホームページや資料等で行う | 通年 |
| その他目的を達成するために必要な事業 | 国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修プログラムの評価や人材育成を行い、公益の増進に寄与するために必要な事業を行う | 通年 |

第1章 平成24年度の事業報告(概要)

1) 臨床研修病院の研修プログラムに関する評価事業

臨床研修病院において社会の要請に応える適切な研修プログラムが作成され、プログラムとおりに研修が実施されているかを評価し、認定を行う。

| 申請数(累計) | H22 年度 | H23 年度 | H24 年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 新規 受審 申請数 | 128 | 151 | 168 |
| 更新 受審(訪問調査) 申請数 | 37 | 72 | 97 |
| 更新 受審(書面調査) 申請数 | 32 | 50 | 79 |

| 訪問調査 実施数(累計) | H22 年度 | H23 年度 | H24 年度 |
|----------------|--------|--------|--------|
| (1)新規 訪問調査 実施数 | 108 | 133 | 149 |
| (2)更新 訪問調査 実施数 | 30 | 63 | 91 |
| (3)再調査 実施数 | 6 | 6 | 8 |
| (4)補充調査 実施数 | 0 | 1 | 1 |

| 認定証発行数(累計) | H22 年度 | H23 年度 | H24 年度 |
|------------|--------|--------|--------|
| 新規 認定証 発行数 | 102 | 124 | 143 |
| 更新 認定証 発行数 | 29 | 58 | 85 |

大学病院・臨床研修病院を対象に初回調査(訪問調査)が149病院に達し、認定証有効期限満了に伴う更新訪問調査が91病院、評価事業の開始から合計240病院における調査を実施したことになる。評価を受けた病院の受け止めはほぼ良好である。

報告書のフィードバックに要した期間は、訪問調査日から平均37日であった。(最長63日、最短22日)。今年度も訪問調査から約45日で評価結果をフィードバックするという当初の計画をほぼ実行できたことになる。評価結果を迅速にフィードバックできることが、病院側の改善意欲を維持促進させ、臨床研修プログラムの質の向上を図る上での疑問点等の解決に効果的に役立てられると期待される。

2) 臨床研修病院の研修プログラムに関する人材育成事業

臨床研修評価に必要な評価者(サーベイヤー)を養成する

サーベイヤー養成状況

- (1) サーベイヤー講習会の開催回数：1回
- (2) サーベイヤー講習会の受講者数：55名
- (3) サーベイヤー委嘱数：54名

- (4) 訪問調査(44調査、2再調査)におけるサーベイヤーの稼働状況

サーベイヤー出勤数：延数201人(サーベイ担当134人、オブザーバー15人、OJT51人)

※ OJT：On the Job Training

当評価機構の正会員のうち評価事業に協力できる者を対象にサーベイヤー講習会(新規サーベイヤー

養成講習)を開催し、サーベイヤの心得と役割および業務、ならびに評価体系に関する知識についての全課程を修了した者、また講師の資質を要する者をサーベイヤとして委嘱した。

サーベイヤ委嘱後には、順次OJTとして訪問調査のサーベイヤチームに同行することで実際の評価とサーベイヤ業務の流れを修得した。

サーベイヤには講習会資料集、書面調査、臨床研修評価の目的や意義、携帯サイズのサーベイヤハンドブックを配布した。

3) 臨床研修病院の研修プログラムに関する研究開発事業

臨床研修病院において必要とされるものは何か、臨床研修病院のあり方について研究開発し質の高い臨床研修の実現を支援する。

毎月実施されるワーキンググループ(兼評価委員会)において、個々の病院の評価結果と改善の事例を審議する過程で主に現行の評価体系についての課題を確認し、次期改訂版にむけての検討を行った。また、この間、訪問調査を担当したサーベイヤからの意見、受審病院からの意見も随時確認した。改訂案は、ホームページへの掲載によりパブリックコメントを求め、内容を確認・反映し、改訂版October2011として完成させた。

また、サーベイヤによる評価項目等の検討会を開催し、本年度は「組織図、各種委員会について」、「要検討、要改善事例について」、「研修医の態度評価について」ディスカッションし、その結果を書面調査票の付録として、さらに臨床研修病院実務者講習会で報告した。

4) 卒後臨床研修に関する情報収集及び情報提供事業

卒後臨床研修に関する情報の収集や評価に関する研究結果の公開などをホームページや資料等で行う。

メールマガジンとホームページ上にて評価機構の活動状況等を案内している。

ホームページ上の認定病院一覧の表示を都道府県や病床数などで並び替え可能にし、認定病院の必要な分布の情報を得られるようにしている。また、「JCEPカレンダー」から、予定しているイベント情報や、訪問調査受け入れ可能日を確認できるようにしている。

今年度も書面調査October2012(臨床研修調査票、自己評価調査票《評価項目》)を全公開した。非会員病院、受審を検討中の病院も、また研修病院以外の病院・施設も、さらに一般にも、自由にダウンロード可能にし、広く臨床研修の重要性が周知されることが期待される。

卒後臨床研修に関する情報収集と提供については、今後当評価機構に期待される事業として組み込まれたものであるため、日本および海外の卒後臨床研修の現状の把握と質向上に向けて実践されることが期待される。

5) その他の事業

(1)「NPO法人卒後臨床研修評価機構 5周年記念会」を開催し、改めて関係各位にNPO法人の設立からの事業報告を行った。